

NTTアクセスサービスシステム研究所

Location

アクセスサービスシステム研究所は、「筑波研究開発センター」「横須賀研究開発センター」「武蔵野研究開発センター」を拠点に、お客様とNTTビルを結ぶアクセスネットワークに関する研究開発を行っています。



筑波研究開発センター
茨城県つくば市花畑1-7-1



横須賀研究開発センター
神奈川県横須賀市光の丘1-1



武蔵野研究開発センター
東京都武蔵野市緑町3-9-11

NTTアクセスサービスシステム研究所

NTT Access Network Service Systems Laboratories

ISO14001 認証

平成12年度にISO14001の認証を取得しました。
リサイクル可能な材料の開発、有害物質の使用制御、低消費電力物品の活用等、環境保護に配慮した研究開発に取り組んでいます。



ホームページ

■NTTアクセスサービスシステム研究所ホームページ

<https://www.rd.ntt/as/>

研究所の紹介をしています



この印刷には責任ある森林管理の「FSC®認証紙」を使用し、環境に配慮した「水なし印刷」と「ベジタブルインキ」を採用しています。工場の消費電力量の一部はCO₂を排出しないクリーン電力を採用しています。

NTTアクセスサービスシステム研究所のR&D

オペレーション技術

アクセス系の様々な環境や状況に追従し、抜本的な業務変革や価値の連鎖的拡大を可能とするオペレーション支援を実現する取り組みです。

自己進化型故障イベント分析技術

装置のアラームや故障履歴といった情報をAI等により分析し、ネットワーク故障の原因特定を自動化します。

協働型DX支援技術

端末作業の実施状況やオペレータの特性を分析し、様々な組織のITアセットやAIの活用により、業務の遂行や改善を支援します。

NW構成情報統一化・流通基盤技術

ネットワークリソースを統一的に管理することで、故障/災害時のサービス影響把握を迅速化します。

アクセスシステム技術

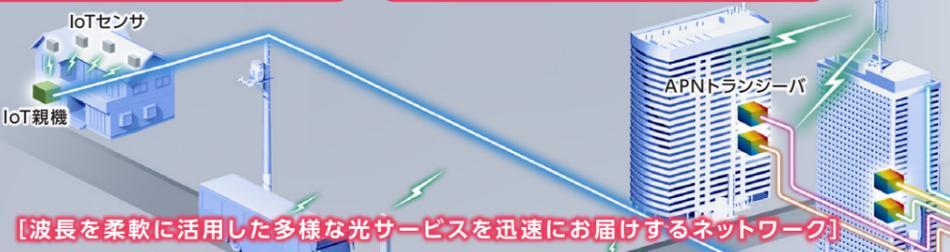
より高速で低コストな光ファイバ通信サービスをお届けするための取り組みです。

光アクセスシステム化技術

非電化エリアに設置した通信端末を光ファイバからの光で給電する等、光アクセスにおける収容装置と端末の機能や対候性を高め、さらなる広域エリアへサービスを提供します。

APNアクセス構成技術・伝送技術

大容量・低遅延なオール光ネットワーク(APN)を実現し、様々なお客様に先進的なサービスを提供します。



光アナログ伝送技術

映像伝送システムを含めた将来の多様なアナログ伝送サービスを高品質・低コストに提供することに貢献します。

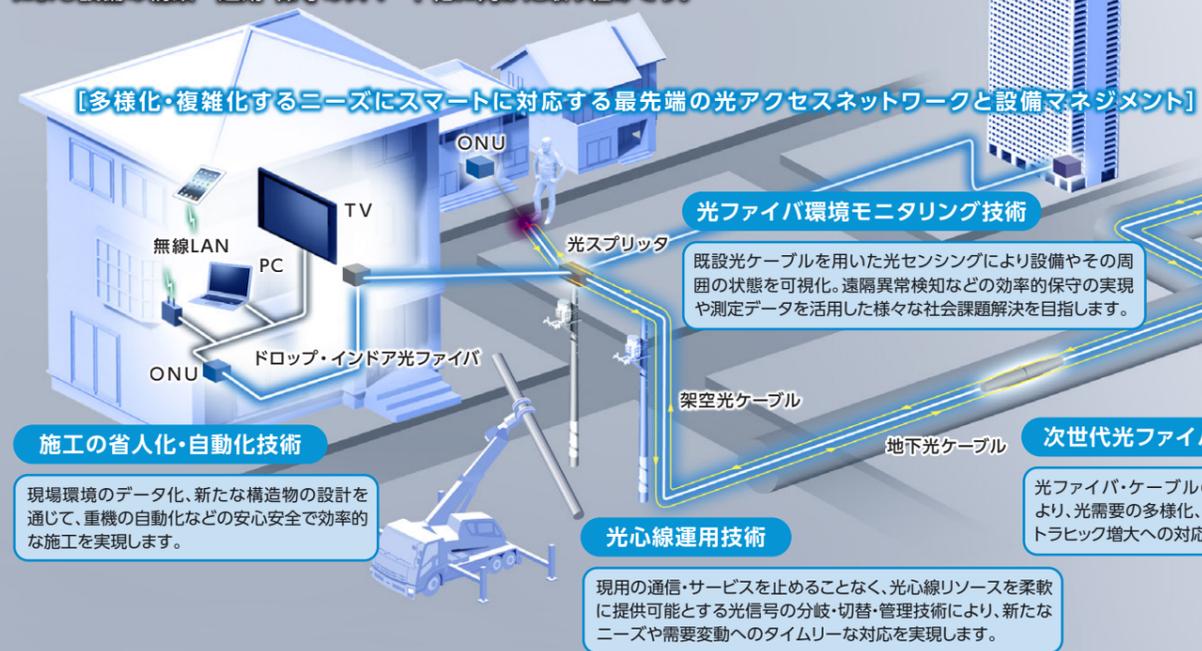
機能別NW制御技術

トラフィック変化を予測したり、光・無線・コンピュータ基盤を正確かつリアルタイムに連携制御することで、多種多様な品質と効能を有するネットワークを提供します。

オプティカルファイバアクセス技術

光アクセスネットワークの高度化・経済化と、デジタルデータの徹底活用による設備の構築～運用・保守のスマート化に向けた取り組みです。

[多様化・複雑化するニーズにスマートに対応する最先端の光アクセスネットワークと設備マネジメント]



光ファイバ環境モニタリング技術

既設光ケーブルを用いた光センシングにより設備やその周囲の状態を可視化。遠隔異常検知などの効率的保守の実現や測定データを活用した様々な社会課題解決を目指します。

次世代光ファイバ技術

光ファイバ・ケーブルの超大容量化技術により、光需要の多様化、将来的なネットワークトラフィック増大への対応を実現します。

光心線運用技術

現用の通信・サービスを止めることなく、光心線リソースを柔軟に提供可能とする光信号の分岐・切替・管理技術により、新たなニーズや需要変動へのタイムリーな対応を実現します。

ワイヤレスアクセス技術

B5G/6G以降および次世代の無線システムやサービスでの価値向上に向けて、無線技術の高度化やサービスエリアの拡大を目指す取り組みです。

無線カバレッジ拡張技術

静止衛星、低軌道衛星などの衛星、HAPSから構成される多層型非地上ネットワーク(NTN)により、電話だけでなくIoTや航空機内通信サービスや災害対策向け通信など、多様なサービス提供可能なエリアカバレッジの拡大を目指します。

無線アクセス高度化技術

B5G/6G以降および次世代の無線システムやサービスを創造します。また、無線システムを用いて生活を支えるライフラインを維持し、新しい無線システムの適用領域を開拓します。

[あらゆるシーンでナチュラルにつながる新スタイルの創造]

無線サービス多様化技術

無線センシングや自律飛行ドローン活用による大型構造物点検への無線技術応用など、通信を超えた新しい付加価値の創出を目指します。

無線リソース管理技術

方式を超えた高品質な無線空間の実現と、複数の無線システムの無線リソースを管理することで、ユーザが無線システムを意識することなくナチュラルにサービスを利用できる環境を構築します。

インフラストラクチャ技術

通信基盤設備を含む社会インフラの課題解決により、スマートワールドの実現を目指す取り組みです。

被災予測技術

様々な自然災害に対して社会インフラ設備の被災を予測し、プロアクティブな対応を可能とすることで強靱な社会インフラの実現を目指します。

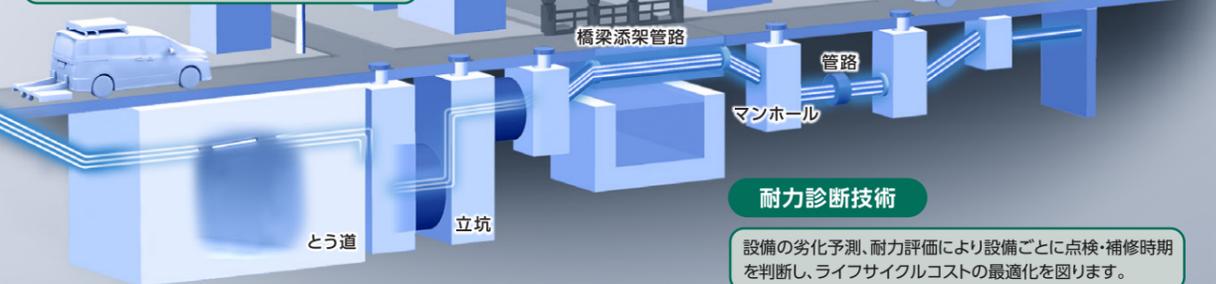
点検診断技術

点検画像・データにより設備状態や将来予測を実施し、点検診断業務の効率化やライフサイクルコストの最適化を目指します。

設備維持管理技術

基盤設備情報、点検情報の絶対座標管理(3D化)による設備管理業務の効率化の実現を目指します。

[社会インフラのスマートな保守・運用]



設備アセット活用技術

社会課題の解決に資するエネルギーインフラなどの新しい社会インフラに対して、通信設備のアセットを活用することで低コストな設備構築の実現を目指します。

耐力診断技術

設備の劣化予測、耐力評価により設備ごとに点検・補修時期を判断し、ライフサイクルコストの最適化を図ります。